

日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2018 年 12 月号

NO. 302

TOPICS

協会との出会い

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 脇山 亜希子

MESSAGE P3

2019 年度新会員制度に向けて

ATTENTION P4

「新春PRフェスタ2019」を来年1月24日(木)に開催します！

ATTENTION P5

広報PRアカデミー2018 コミュニケーション・ケーススタディ講座 開講

ATTENTION P6

PRプランナー資格認定制度/検定試験 1次試験受験締切は1月25日(金)から受付！

ATTENTION P7

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <https://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F

電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人:畔柳 一典

12月号 目次

12月～1月のスケジュール		— 1
MESSAGE(メッセージ)	協会との出会い	— 3
ATTENTION(お知らせ)	2019年度新会員制度に向けて	— 4
〃	「新春PRフェスタ2019」を来年1月24日(木)に開催します	— 5
〃	広報PRアカデミー 2018コミュニケーション・ケーススタディ講座第2回開講	— 6
〃	1次試験受験締切は1月25日(金)	— 7
BULLETIN(活動報告)	第23回PRプランナー資格認定検定試験2次試験を11月11日に実施	— 9
〃	第43回PRスキル研究会実施(会員限定)	— 11
〃	企業部会OBOG会、開催しました！(会員限定)	— 11
VOICE of PR PLANNER	「正解がない仕事」にまつわる諸々	— 12
REPORT(講演レポート)	第195回定例研究会 デジタルメディアの将来と『NewsPicks』の戦略 ～新たなグローバル化のなか経済メディアはどう変わるのか～(会員限定)	— 13
協会掲載記事	「PRSJ in Media」	— 24

12月～1月スケジュール

広報PRアカデミー2018 3次試験対応講座	日 時 : 12月4(火)、12(水)、19(水)、26(水) 1月9(水)、15(火) いずれも 19:00～21:30 会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49
特別国際セミナー	日 時 : 12月4日(火) 19:00～21:00 講 師 : (株)博報堂ケトル PR ディレクター／ストラテジックプランニングディレクター 太田郁子氏 (株)電通 コピーライター／プランナー 中川諒氏 フリーランスプランナー／ディレクター 村石健太郎氏 テーマ 「スパイクスアジアから学ぶPRの潮流」 会 場 : 株式会社オプト 大ホール
「PRアワードグランプリ 2018」 PR アワードグランプリ表彰式	日 時 : 12月11日(火) 17:00～20:00 会 場 : 時事通信ホール
広報PRアカデミー2017 コミュニケーション・ケーススタディ講座	日 時 : 12月13日(木) 19:00～21:00 講 師 : ゼウス・コンサルティング(株) 代表取締役社長 兼 CEO 白井邦芳氏 テーマ 「危機管理広報スタディ」 会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49
特別国際セミナー	日 時 : 12月17日(月) 12:00～14:00 講 師 : 京都外国語大学 パブリック・ディプロマシー教授 Dr. Nancy Snow 氏 テーマ Japan's Information War ～ 日本のブランド戦略: 日本政府、企業、大学はどのように世界にストーリーを伝えるべきか？ 会 場 : 公益社団法人 日本外国特派員協会(FCCJ)
平成 31 年広告界合同年賀会	日 時 : 2019 年 1 月 8 日(火) 15:30～17:00 会 場 : 帝国ホテル「孔雀の間」
広報PRアカデミー2018 コミュニケーション・ケーススタディ	日 時 : 1月22日(火) 19:00～21:00 会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49 講 師 : 東京都市大学・准教授/社会情報大学院大学・客員教授 北見幸一氏 テーマ : 「マーケティング PR スタディ」
新春PRフェスタ 2019	日 時 : 1月24日(木) 16:00～20:00 会 場 : 国際文化会館「岩崎小彌太記念ホール」「樺山・松本ルーム」
PRプランナー資格認定制度 第 23 回 3 次検定試験	日 時 : 1月26日(土) 12:00～16:00 会 場 : 富士通ラーニングメディア 品川ラーニングセンター

「新春PRフェスタ 2019」を来年1月24日(木)に六本木・国際文化会館
で開催いたします！(詳細はP5をご参照ください)

12月～1月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会	(12 月度)	日 時	: 12 月 13 日 (木)	16:00～17:30
			公益財団法人 国際文化会館	
	(1 月度)	日 時	: 1 月 10 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	:	
教育委員会	(12 月度)		一般財団法人 産業人材研修センター 霞会館	
		日 時	: 12 月 18 日 (火)	12:00～13:30
		会 場	:	協会会議室
資格委員会	(12 月度)	日 時	: 12 月 20 日 (木)	12:00～13:30
		会 場	:	協会会議室
国際・交流委員会	(1 月度)	日 時	: 1 月 9 日 (水)	15:30～17:00
		会 場	:	協会会議室
広報委員会	(12 月度)	日 時	: 12 月 20 日 (木)	16:00～17:30
		会 場	:	協会会議室
顕彰委員会	(12 月度)	日 時	: 12 月 21 日 (金)	17:00～18:30
		会 場	:	協会会議室
企業部会幹事会	(12 月度)	日 時	: 12 月 5 日 (水)	17:00～18:30
		会 場	:	協会会議室
PR業部会幹事会	(12 月度)	日 時	: 12 月 18 日 (火)	16:00～17:30
		会 場	:	協会会議室
PRプランナー部会 幹事会	(12 月度)	日 時	: 未定	
		会 場	:	未定

協会との出会い

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
理事 脇山 亜希子

本年度より理事および国際・交流委員会委員長を拝命いたしました。遡ること18年。第2新卒で入社したマレーシアのコングロマリットが、PR人生の起点でした。アジアで急成長を続けるカジノ統合型リゾートのクルーズ部門で富裕層をターゲットとした営業職を経験したのち、上司の推薦を受けてマーケティング、広告宣伝、広報が集約されたPR部門に異動しました。知識と経験不足から、苦勞する事は誰の目にも明らかでしたが、推薦してくれた上司の期待に応えたいという想い、持ち前の好奇心が原動力となり、超スパルタ環境のもと、密度の高い時間を過ごすことができました。ヒヨコだった私も、5年が経過した頃には新しい経験を積む事に夢中になり、周囲が心配するほど仕事にのめり込んでいきました。ところが、慣れとは恐ろしいもので10年が経過した頃には、小手先で仕事をこなし、ある種の成長願望が減退している事に気が付きました。

そろそろ次のステージで新しい経験を積むときが来たかと、転職先の日系企業で出会ったのが日本パブリックリレーションズ協会でした。

転職直後、予算編成の時期を迎え「日本パブリックリレーションズ協会の会員だけど、正直なところあまり活かしきれていない、実際にセミナーに参加するなどして来期の継続可否を判断するように」と指示がありました。その際に出席した「なでしこカウンスル」をきっかけに、市瀬前理事および国際・交流委員会とのご縁が生まれ、現在に至ります。声を大にして申し上げたいのは、協会から発信される情報を一方通行で受け取るだけでは非常にもったいなく、会員としてのメリットを享受する事は難しいという事です。是非、講演会や懇親会に身を投じていただき、第一線で活躍するPRパーソンとの出会い、そこから得る「気づき」を実務のパフォーマンス向上にお役立ていただけますと幸いです。最新PR動向だけでなく、時に原点に立ち返る事も長い人生においてはとても重要な事です。残し伝えるもの、新たに变えるべきもの、これらのバランスを見極めながら様々なものごとを後世にバトンタッチしていく事が協会の重要な役割と考えております。

最後に。国際・交流委員会は、グローバルPRの最新動向をお伝えする為の国際セミナー、異文化勉強会と、会員同士の交流プログラムを中心に活動しております。明るく、意欲的な委員会メンバーと共に、ますます活動を充実、拡大させる所存です。これからも宜しくお願いいたします。

2019 年度新会員制度、どうなる？ どうする？

会員のみなさまには平素より、協会活動に多大なご理解、ご支援をいただき、感謝申し上げます。PRSJでは、急速なメディア環境、社会環境の変化の中、時代のニーズに適した会員・会費制度改正を2019年4月から施行いたします。

皆様に新しい会員制度をより理解していただくためにも、協会ニュースで会員制度のご案内とともにPR業、企業それぞれの立場での会員制度の活かし方やPRプランナー部会の活動について連載で紹介してきましたが、今月号では、会員制度変更の具体的なスケジュールをご案内いたします。

■会員種別検討特別委員会リレーエッセイ

第4回 「より開かれた会員制度改革に向けて～」

会員種別検討特別委員会
理事・資格委員会委員長
境 信幸

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会は、一般企業とPR業そして学識経験者や官公庁関係者の方々がPRの発展というフラッグのもと立場や業種を超えて活動している非常にユニークな協会であることを、私自身日々の協会活動を通じてワクワクしながら感じております。

そんな協会活動の根幹をなす、協会会員の新しい会員制度の検討委員会に、生業のPR業として、また協会資格委員という2つの立場・視点から参加させていただきました。

PR業としては、SNS等の発達の中、従来のメディアリレーションズ中心の活動から、企業や団体を取り巻くステークホルダーとどのように良いコミュニケーションを取り信頼関係を獲得していくかが主になっています。また、グローバル、デジタル対応、SDGs等社会的課題解決もPRの主要なテーマになっています。そんななか、PR業に関わるプレイヤーの方々も多種多様になっており、その方々を協会活動に参加していただくことで時代に即した協会活動を展開していく必要があると感じています。

資格委員としては、PRプランナーの1次試験受験者が1万人を超え、PRプランナーホルダーも2,500人を超えている現状をしっかりと受け止めること。プランナーの方々が積極的に協会活動に参加していただくことで、相互の交流や研鑽を重ねPRプランナー自体の地位向上を含めたアクティブな協会活動を展開していただく場の提供の重要性を訴えさせていただきました。

PRSJの倫理綱領を遵守しつつ、PRに関わる方々に広く門戸を開放し、たくさんの方々に協会活動に積極的に参加していただく。40周年を迎えますPRSJが発展するためにはそれは必須といえます。そのための仕組みづくりと魅力づくりが今回の会員種別変更の根幹になっています。

ご理解よろしく願いいたします。

「新春PRフェスタ 2019」を 来年1月24日(木)に開催します！

恒例の「新春PRフェスタ 2019」を新年1月24日(木)、六本木・国際文化会館を会場に開催いたします。

第1部は日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」「シチズン・オブ・ザ・イヤー」表彰式を行い、第2部は丹羽 宇一郎氏が登壇、「どうなる2019年の世界情勢、そして日本は～米中新時代の世界情勢とコミュニケーションの重要性～」と題した特別講演を行います。講演会に引き続き賀詞交歓会を開催いたします。

参加費は8,000円です。お誘いあわせの上、奮ってのご参加をお待ちしています。

1月24日(木)当日のスケジュールは以下の通りです。

	時 間	内 容
新春PRフォーラム 第1部	16:00～17:00	「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」 「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」表彰式
新春PRフォーラム 第2部	17:00～18:00	特別講演会 ・講演 丹羽 宇一郎氏 「どうなる2019年の世界情勢、そして日本は」 ～米中新時代の世界情勢とコミュニケーションの重要性～
	18:00～18:15	質疑応答
	18:30～20:00	賀詞交歓会

【丹羽 宇一郎氏のプロフィール】

元中華人民共和国駐劔特命全権大使

元伊藤忠商事株式会社取締役会長

早稲田大学 特命教授

公益社団法人 日中友好協会会長

一般社団法人 グローバルビジネス学会会長

福井県立大学 客員教授

1939年 愛知県生まれ。1962年 3月名古屋大学法学部卒業

同年 4月伊藤忠商事入社、主に食料部門に携わる。

1998年 4月 同社社長、2004年 会長に就任

2010年 6月～2012年 12月 中華人民共和国駐劔特命全権大使

現在 早稲田大学特命教授、グローバルビジネス学会会長、

日中友好協会会長、福井県立大学客員教授

2006年 10月～2008年 10月 経済財政諮問会議民間議員

2007年 4月～2010年 3月 地方分権改革推進委員会委員長

主な著書

「人は仕事で磨かれる」文春文庫刊

「汗出せ、知恵出せ、もっと働け！」文藝春秋刊

「新・ニッポン開国論」日経BP刊他著書多数

広報PRアカデミー2018

コミュニケーション・ケーススタディ講座 第2回「危機管理広報スタディ」

「失敗事例、成功事例から読み解く危機管理広報と炎上対策 ～ブランドや信頼の回復、形成におけるコミュニケーションの役割～」 六本木アカデミーヒルズ 49 で 12 月 13 日開講

教 育 委 員 会

コミュニケーション・ケーススタディ講座 第2回「危機管理広報スタディ」として、「失敗事例、成功事例から読み解く危機管理広報と炎上対策～ブランドや信頼の回復、形成におけるコミュニケーションの役割～」を、六本木アカデミーヒルズ 49 で開講いたします。

著名企業が不祥事を起こし、その信頼を揺らがすとともに企業風土やコンプライアンスが世界から問われる事態が続いています。経営者が社会に謝罪する緊急記者会見も相次いでいます。危機管理の要諦について認識も薄いまま緊急記者会見に登壇する経営者は、結果として多くのステークホルダーを失望させ、長い時間をかけて築き上げてきた貴重な信頼を一気に損なう軽率な発言が目を引くことも少なくありません。傷ついた信頼やブランドをとり戻すには、何よりもステークホルダー全般を俯瞰した適切なリスクマネジメントに基づく危機管理広報（クライシス・コミュニケーション）が求められます。



本講座では、講師に危機管理の専門家として知られる白井邦芳氏をお招きし、最近見られた危機管理広報の失敗事例、成功事例を具体的に検証、そのポイントを教訓として学びます。さらに危機管理のノウハウを交え、棄損した企業のブランドや信頼の回復、新たな形成のプロセスにおいてコミュニケーションはどうあるべきか、さまざまな危機管理に携わる講師の豊富な経験に基づきご解説いただきます。

危機管理におけるコミュニケーション能力の強化をめざす多くの広報・PRパーソンの受講をお待ちします。

受講の詳細ならびにお申込は、下記協会・広報PRアカデミーのWebページをご参照ください。

<https://event.prsj.or.jp/pr-academy-2018/casestudy-crisis>

(事務局・真部)

第1回「企業広報スタディ」を開講

さる11月14日、今年度のコミュニケーション・ケーススタディ講座が開講しました。第1回となる今回は「企業広報スタディ」で、講師は井上パブリックリレーションズの横田和明氏が務められました。

講座では、『リレーションシップ・マネジメント』が実現する戦略的コミュニケーションをテーマに、PRの基本的概念説明から“ミッション・ビジョン・バリュー”の重要性と経営戦略におけるPRの位置づけについて力点を置いて講義されました。

また、実際に手がけられたコーポレート・コミュニケーション活動の事例が戦略性とアイデアに富んでいたことから、受講者の共感と呼んでいました。



PRプランナー資格認定制度／検定試験

第24回「PRプランナー資格認定検定試験」

1次試験 申込受付中！締切は1月25日(金)

～ 試験会場は、東京・大阪・福岡 ～

資格委員会

第24回となるPRプランナー資格認定検定試験1次試験（実施：2019年3月3日(日)）を、東京・大阪・福岡会場にて実施します。

日本パブリックリレーションズ協会が認定する「PRプランナー資格認定制度」は、広報・PRの業務に求められる専門的な知識やスキル、職能意識等を検定し資格として認定する、公益法人としてわが国唯一の資格制度です。検定試験は1次から3次にわたり、さらに書類審査を経て、広報・PRに関する高い専門能力の保有を認定する「PRプランナー」資格を取得することができます。本制度は2007年より発足しすでに22回の試験を実施、難関を突破し資格を取得した2,542名（11月30日現在）のPRプランナーが一般企業、PR会社、政府機関や自治体等で活躍しています。

受験申込期間は、1月25日（金）までとなっておりますので、皆様のまわりにPRプランナー資格の取得を目指される方がいらっしゃいましたら、本試験についてご紹介ならびにご推奨を賜れば幸いに存じます。

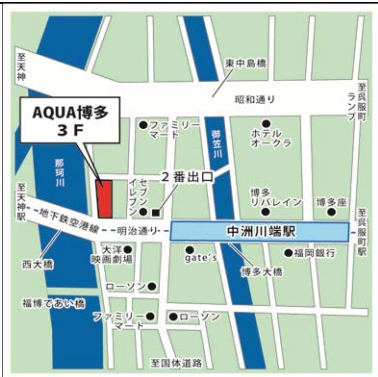
＜PRプランナー資格認定制度／検定制度 1次試験 実施概要＞

試験日	2018年3月3日（日） 試験は東京・大阪・福岡会場ともに3月3日（日）午前中に同時実施・終了する予定です。
受験申込期間	2018年12月1日（土）～2019年1月25日（金）
受験申込方法	受験申込から合否通知までの手順は次の通りとなります。 ※前回（第23回）と同様に、受験申込は完全にペーパーレス化となり、「PRプランナー資格制度」Webサイトからお申込となります。 ＜受験申込手順＞ ①受験種別と受験料をご確認ください ②受験料をお振込みください ③画像データをご用意ください ④PRプランナー資格制度Webサイトにアクセスします ⑤受験申込フォームに入力 入力内容：氏名、受験種別、試験会場、受験票・合否発送先住所、生年月日、メールアドレス、受験料の振込日と振込人名、等 アップロード内容：受験者ご本人の写真データ ⑤入力確認画面を経て、受験申込完了
受験票送付	2019年2月15日（金）発送
合否通知送付	2019年3月15日（金）発送 ・受験申込書にご記入いただいたご住所に、合否通知を発送いたします。 ・合格された方には、2次試験ならびにPRプランナー補認定申請のご案内を、メールでも3月18日（月）にお送りします。

<試験時間>

0 9 時 3 0 分	各試験会場に入館できます
1 0 時 2 0 分	指定の教室・座席にご着席ください
1 0 時 2 5 分	注意事項伝達・試験問題配布
1 0 時 4 0 分	試験開始
1 2 時 0 0 分	試験終了

<試験会場>

東京会場 東洋学園大学 本郷キャンパス 文京区本郷 1-26-3	大阪会場 毎日インテシオ 大阪市北区梅田 3-4-5	福岡会場 AQUA 博多 福岡市博多区中洲 5-3-8
		
・JR線、都営三田線「水道橋駅」徒歩7分 ・丸ノ内線、都営大江戸線「本郷三丁目駅」徒歩4分	・JR大阪駅から西梅田地下歩行者道を通り、徒歩約15分	・地下鉄空港線「中洲川端駅」徒歩4分

※資格検定試験の詳細は、下記URLのPRプランナー資格Webサイトをご覧ください。

<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



第 23 回PRプランナー資格認定検定試験 2 次試験を 11 月 11 日に実施 東京・大阪・名古屋で、286 名の受験者が挑戦！

— 教 育 委 員 会 —

11 月 11 日（日）、第 23 回 P R プランナー資格検定 2 次試験が東京（TKP 渋谷カンファレンスセンター）、大阪（毎日インテシオ）、名古屋（TKP 名古屋駅前カンファレンスセンター）で行われました。今回の 2 次試験では、東京会場：259 名、大阪会場：49 名、名古屋：15 名の合計 323 名が受験申込をされ、当日は 286 名（東京会場：226 名、大阪会場：46 名、名古屋：14 名）の受験者が受験し、そのうち 247 名（東京会場：194 名、大阪会場：40 名、名古屋：13 名）が合格されました。また、今回の 2 次試験の合格率は 86.4%となりました。

今回も無事終了することができました。ご協力いただきました関係者の皆様には、厚くお礼申し上げます。

なお、今回の 2 次試験の受験者および合格者・合格率は以下の通りです。

< 第 23 回 科目別 正答率 65%以上 >

科目 A：C S R、I R、危機管理等、企業経営とコミュニケーションに関する知識

受験者 286 名、正答率 65%以上 234 名、達成率 81.8%

科目 B：マーケティング、ブランドマネジメントに関する知識

受験者 286 名、正答率 65%以上 226 名、達成率 79.0%

科目 C：広報・P R 実務に関する知識

受験者 286 名、正答率 65%以上 247 名、達成率 86.4%

科目 D：時事知識

受験者 286 名、正答率 65%以上 169 名、達成率 59.1%

< 第 23 回 2 次試験合格率 >

受験者 325 名、合格者 247 名、合格率 86.4%

※上記「科目別 正答率 65%以上」の人数は、2 次試験合格基準となる「出題数に対して正答率 65%以上」を満たした人数となり、達成率は、全体での割合として記載しております。



東京会場：TKP 渋谷カンファレンスセンター

■第23回2次試験(2018年11月11日) 合格率・受験者プロフィール

		PR業/ PR関連業	一般企業 (広報PR関連)	一般企業 (その他)	各種団体	教育機関	自治体	学 生	その他	全 体
男性	受験者	38 名	55 名	11 名	6 名	4 名	3 名	4 名	3 名	124 名
	合格者	33 名	52 名	10 名	6 名	4 名	3 名	3 名	3 名	114 名
女性	受験者	36 名	75 名	16 名	3 名	4 名	3 名	5 名	20 名	162 名
	合格者	29 名	64 名	15 名	3 名	2 名	1 名	2 名	17 名	133 名
全体	受験者 (全体比)	74 名 (25.9%)	130 名 (45.5%)	27 名 (9.4%)	9 名 (3.1%)	8 名 (2.8%)	6 名 (2.1%)	9 名 (3.1%)	23 名 (8.0%)	286 名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	62 名 (25.1%)	116 名 (47.0%)	25 名 (10.1%)	9 名 (3.6%)	6 名 (2.4%)	4 名 (1.6%)	5 名 (2.0%)	20 名 (8.1%)	247 名 (100.0%)
	合格率	83.8%	89.2%	92.6%	100.0%	75.0%	66.7%	55.6%	87.0%	86.4%

		20 代	30 代	40 代以上	全体
男性	受験者	22 名	46 名	56 名	124 名
	合格者	20 名	42 名	52 名	114 名
女性	受験者	55 名	70 名	37 名	162 名
	合格者	44 名	59 名	30 名	133 名
全体	受験者 (全体比)	77 名 (26.9%)	116 名 (40.6%)	93 名 (32.5%)	286 名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	64 名 (25.9%)	101 名 (40.9%)	82 名 (33.2%)	247 名 (100.0%)
	合格率	83.1%	87.1%	88.2%	86.4%

受験者	合格者	合格率
286 名	247 名	86.4 %

■2次試験累計(第1回～第23回) 合格率・受験者プロフィール

		PR業/ PR関連業	一般企業 (広報PR関連)	一般企業 (その他)	各種団体	教育機関	自治体	学 生	その他	全体
男性	受験者	935 名	982 名	282 名	51 名	70 名	85 名	132 名	168 名	2705 名
	合格者	740 名	825 名	222 名	43 名	61 名	70 名	74 名	140 名	2175 名
女性	受験者	698 名	1269 名	243 名	52 名	55 名	49 名	145 名	218 名	2729 名
	合格者	495 名	939 名	177 名	35 名	45 名	40 名	69 名	157 名	1957 名
全体	受験者 (全体比)	1633 名 (30.1%)	2251 名 (41.4%)	525 名 (9.7%)	103 名 (1.9%)	125 名 (2.3%)	134 名 (2.5%)	277 名 (5.1%)	386 名 (7.1%)	5434 名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	1235 名 (329.9%)	1764 名 (42.7%)	399 名 (9.7%)	78 名 (1.9%)	106 名 (2.6%)	110 名 (2.7%)	143 名 (3.5%)	297 名 (7.2%)	4132 名 (100.0%)
	合格率	75.6%	78.4%	76.0%	75.7%	84.8%	82.1%	51.6%	76.9%	76.0%

		20 代	30 代	40 代以上	全体
男性	受験者	721 名	1141 名	843 名	2705 名
	合格者	521 名	930 名	724 名	2175 名
女性	受験者	1011 名	1190 名	528 名	2729 名
	合格者	666 名	886 名	405 名	1957 名
全体	受験者 (全体比)	1732 名 (31.9%)	2331 名 (42.9%)	1371 名 (25.2%)	5434 名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	1187 名 (28.7%)	1816 名 (43.9%)	1129 名 (27.3%)	4132 名 (100.0%)
	合格率	68.5%	77.9%	82.3%	76.0%

受験者	合格者	合格率
5,434 名	4,132 名	76.0 %

会 員 限 定

第 43 回PRスキル研究会

PRをアップデートしよう！『PR思考』の標準装備で『手法』も自由に

— P R 業 部 会 —

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（PRSJ）は、PR業に携わる方のスキルアップならびにコミュニケーションスキルの向上を目的とし、2008年から10年にわたり「PRスキル研究会」を開催しています。幅広い業界から講師をお招きしており、学びだけでなく意見交換の場としても活用できると、毎回好評を博しています（無料・要予約）。

第43回となる「PRスキル研究会」は、（株）電通パブリックリレーションズの伊澤佑美氏を講師にお迎えして、“PRをアップデートしよう！『PR思考』の標準装備で『手法』も自由に”をテーマに開催し、41名が参加しました。

「企業部会OBOG会、開催しました！」

— 企 業 部 会 —

企業部会では、11月28日（水）に品川プリンスホテル・和ビストロ「いちよう坂」において、「企業部会 OBOG 会」をご多忙な中9名が参加し開催いたしました。

今後も企業部会では様々な形での交流を企図し、協会活動の活性化を目指してまいります。

「正解がない仕事」にまつわる諸々

株式会社システムサポート
城 直弓

はじめまして、PRSJ 認定PRプランナーの城 直弓（きずき なおみ）と申します。企業向けITシステム開発を行っている株式会社システムサポートに勤務しております。所属は経営企画部コーポレートコミュニケーショングループです。

現職は4年目で、それ以前は別業界ですが現職と同じくBtoBのサービス業に勤務し、広報や総務を担当していました。PRプランナー資格は前職時代に取得しています。取得のきっかけは、個人的な話で恐縮ですが、第1子の育児休業明けのタイミングで本社の別部署から広報に異動となったことです。その若干の「飛ばされた」感を払拭するために資格取得をがんばったという経緯があります。

さて、私の所属する株式会社システムサポートは、2018年8月に東証マザーズに新規上場しました。新規上場準備は大変でしたが、上場はゴールではありません。上場後、サービスの広報が主体だったそれまでとは違った形で広報対応が求められるようになっており、自社について新しい側面で説明する機会が増えています。

私見ですが、広報というのは幅も広ければ奥も深く、そして正解がない仕事です（「失敗」はあるかもしれませんが・・・）。またBtoB企業の広報はあまり活発な部署でなく、社内のごく少数人数で担っている場合も多いと思います。今の私の部署も、「コーポレートコミュニケーショングループ」を名乗っていますが所属は私1人で、前職でも（1人ということはありませんでしたが）似たような状況でした。知識やノウハウが蓄積されづらく、いったいなにを頼りに仕事を進めていけばいいのか、どうすれば広報として成長できるのか不安に感じることが多い環境です。

そんなわけで今回の上場は、広報担当者としてはだいぶ心もとないまま迎えてしまったというのが正直なところ。現在でも適切な広報対応ができているのか心配は尽きず、日々手探りです。ただそれでも最低限の自信をもって臨めているのは、自分のこれまでの経験と、PRプランナー取得に際して学んだ広報の体系的な知識のおかげだと思っています。私自身は広報として成長するために必要なのは、「実践（日々の経験）」と同時にPRプランナー試験に代表されるような「知識」だと考えており、その両者を鍛えることを意識しています。今回ちょうど会社が大きく変化するタイミングに立ち会うことができ、「実践」面でも大変貴重な機会に恵まれたと感謝しています。

最後に、私が広報の仕事を行うなかで頼りにしている言葉を、雑多ではありますがご紹介します。

①会社の全体最適を考えることができるのは、経営者と広報

以前、広報の研修で教えていただいた言葉です。社内外の人にいろいろなことを言われて自信を失ったときにこの言葉を思い出すと、自信を取り戻して、強い意志をもって前に進める場合があります。

②広報の仕事の8割は社内調整

これも広報の研修で教えていただいた言葉です。広報関連で社外にアウトソーシングできる仕事はいろいろありますが、社内調整は広報が自分でやるしかありません。社内調整ばかりで気が遠くなったときにこの言葉を思い出すと、これこそが自分の仕事だと思って（諦めがついて？）取り組むことができます。

③中身が大事

私は、情報は見かけも大事ですがなにより中身（内容）が大事だと思っており、情報に厚化粧はせず薄化粧にとどめるようにしています。「充実した事業活動（情報の中身）」に見合った「適切な広報（薄化粧）」という関係を目指しています。

会 員 限 定**第195回定例研究会****デジタルメディアの将来と『NewsPicks』の戦略
～新たなグローバル化のなか経済メディアはどう変わるのか～****講師：(株)ニューズピックス取締役 COO****佐々木紀彦氏**

第195回定例研究会（10月度）は、10月26日（金）、AP 東京八重洲通りで開催しました。講師は(株)ニューズピックス取締役 COO（Chief Content Officer）佐々木紀彦氏。テーマは「デジタルメディアの将来と『NewsPicks』の戦略～新たなグローバル化のなか経済メディアはどう変わるのか～」。当日の参加者は57名でした。



PRSJ in Media

● 11月1日（木） 『月刊広報会議』12月号

『月刊広報会議』12月号における当協会のコラムにおいて、PRプランナー資格 試験項目一部見直しと公式テキスト2冊の発刊についてとり上げられています。

主な試験項目の変更点は、①1次試験範囲に「ブランド」を加える。②2次試験に「グローバル広報」「インターナル・コミュニケーション」「マーケティング・コミュニケーション」を加える、③「ネットPR」を項目として独立させずに各領域に分散する、などで、この新しい試験内容に対応して、公式テキスト『広報・PR概説』（1次試験対応）、『広報・PR実践』（2次・3次試験対応）の2冊が同友館より発刊されたことが紹介されています。

また、新しい試験内容は、2019年8月に実施される1次試験、2019年11月に実施される2次試験から、それぞれ適用となることが紹介されました。

（事務局・真部）

〔記事協力 株式会社内外切抜通信社〕

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

F A X 03-5413-2147

※ 禁転載